

(新) 国立公園等における協働型管理運営推進事業

60百万円(0百万円)

自然環境局国立公園課

1. 事業の概要

国立公園には年間約4億人の利用者が訪れているが、利用者のニーズは社会的な変化を反映して刻々と変化しており、公園利用の実態も多様化している。また、国民の自然環境保全意識の高まりとともに自然環境保全活動への参加も増えている。

本事業においては、この公園利用実態の変化を的確に把握し、施設計画をはじめとする公園計画を見直すとともに、この見直しを関係機関、公園事業者、住民団体等、国立公園に関わる多様な主体が協働して行うことで多様な意見を公園計画に反映して、新たな国立公園像を紡ぎ出すものである。

また、この協働による見直しの過程を通じて、これら多様な主体との協働と国民の参画による新たな管理運営体制を構築し、協働による質の高い国立・国定公園サービスの提供を目指すものである。

2. 事業計画

(1) 協働型管理運営推進事業

2か年ごとに、4国立公園を対象としてそれぞれの利用実態(利用動態、利用者ニーズ等)を調査し、これを踏まえた施設計画をはじめとする公園計画等の見直しを行う。またこの実行性を担保するため、地域関係者を始めとした多様な主体とともに協働型管理運営体制の構築を目指す。

(2) 公園管理団体育成事業

NPO法人等民間団体の公園管理への参画促進を目的とした「公園管理団体」制度を推進するために、公園管理団体の新規指定の促進及び既指定の公園管理団体の活動支援を行う。

事業内容	H22	H23	H24	H25	H26	H27
(1) 協働型管理運営体制構築事業	→		→		→	
	4公園		4公園		4公園	
(2) 公園管理団体育成事業	→					

3. 施策の効果

多様な主体との協働による管理運営の実現と効率的・効果的な公園事業の執行により、質の高い国立・国定公園サービスを提供する。

国立公園等における協働型管理運営推進事業



国立・国定公園内で、利用者数の低迷や経済状況の悪化より、必要な維持管理や更新が行われない施設が増加。

利用実態を踏まえた計画の見直し
管理運営体制の強化が必要

多様な主体とともに
協働型管理体制の構築



多様な主体と
情報や課題を共有

公園管理団体の
指定促進



施設計画の見直し



協働型管理体制の構築



質の高い国立・国定公園サービスの提供